

おおとしふるとねがわ
大落古利根川
遊歩道LED街路灯設置工事



所在地：埼玉県北葛飾郡杉戸町・埼玉県南埼玉郡宮代町
 施主：杉戸町・宮代町
 設計：機ナドマン技術研究所
 電気工事：オギ電気(杉戸町側)・イーエスピー(宮代町側)
 竣工：2014年7月(杉戸町側)・2015年7月(宮代町側)

S375

川の再生プロジェクトを進めている埼玉県では、利根川水系の大落古利根川を挟む杉戸町と宮代町で、県の護岸と遊歩道整備に伴いLED街路灯特注器具の設置工事を実施。安全で快適な環境を確保しつつ省エネ・メンテナンスコストの削減を図っています。

埼玉県の「川のまるごと再生」事業に連携して大落古利根川の整備を推進

河川の面積が県土の3.9%を占める埼玉県では、平成20年度からこの資産を活かすため川の再生に取り組んできました。当初の4年間で埼玉県内100か所の川の再生を行う「水辺再生100プラン」を実施。美しく整備された水辺は、地域活動によって維持されています。平成24年度以降は、市町村のまちづくり事業などと連携しながら整備を広げる「川のまるごと再生」へとステップアップ。その事業に杉戸町と宮代町が共同で申請し、採択されたのが「大落古利根川LED街路灯設置工事」です。

美しく整備された護岸、遊歩道にLED街路灯特注器具を設置し親水空間を演出

大落古利根川は、利根川水系の支流で、杉戸町、宮代町、春日部市、越谷市、松伏町の境界付近を流れています。今回の事業は、杉戸町と宮代町の境界を流れる、古川橋から清地橋間における計画で、護岸工事と遊歩道整備を県が担い、LED街路灯の設置は二つの町が、地域住民によって行うことを取り決めて進められました。

杉戸町は日光街道の宿場町として栄え、今年開宿400年を迎え観光客誘致のプロジェクトが立ち上がっています。特に有名な古利根川流灯まつりは5万人以上の来場者を集めるイベントですが、本事業は流灯まつりの会場になる場所でもあり、遊歩道の景観演出とともに、照明も重要な役割を果たしています。

古利根川は約90mの川幅があり、今回、その護岸工事と遊歩道を整備。遊歩道の500mの区間においては、川を挟んで向き合うように50m間隔で地上5.5m高のLED街路灯特注器具一般ポールをそれぞれ6基、計12基が設置されました。従来の街路灯は蛍光灯を使用していたため、今回は大幅な節電とメンテナンスフリーなどを特徴とするLED街路灯(特注)を採用。街路灯の灯具は従来と同デザインの下方向を主体とした全方向拡散形配光の角型意匠で統一し一体感を図っています。同時に従来の蛍光灯街路灯は光源のみをLED電球に更新。新たに遊歩道としての親水空間が創出され、安全で、憩いの場、ゆとりの空間として親しみ感のある景観照明を演出しています。



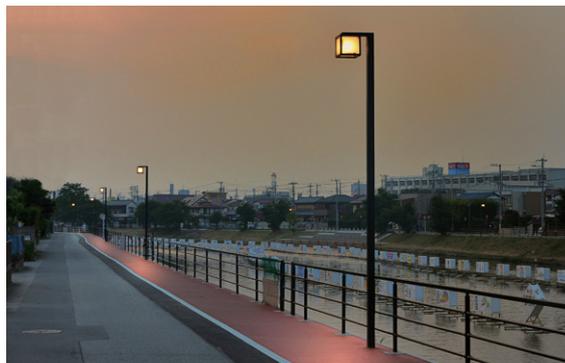
賑やかに浮かべた流灯をバックにして杉戸町側の遊歩道に設置したLED街路灯特注器具の点灯時



宮代町側の護岸整備とLED街路灯特注器具



点灯時のLED街路灯特注器具(上)
 昼間の地上5.5m高LED街路灯特注器具(下)



LED街路灯特注器具を設置した遊歩道を古川橋寄りから清地橋方向に望む

主な納入機器一覧

設置場所	器具名	形名	台数	備考
大落古利根川 遊歩道	LED街路灯特注器具	—	12	LED 消費電力:32W